



市長の公約について

## 公約は、結果をもって市長の評価とする！

議員

「防災先進まちづくり宣言」とはどういうものなのか。

市長

防災力を高めることで地域のきずなをより深め、教育や福祉なども強まっていくので、防災イコールまちづくりと考える。そのため、自主防災組織の全地区結成をしていきたい。

議員

西幹線道路沿線地区の防災拠点整備とは防災の拠点となる複合施設のことか。

市長

今回の水害で西側の地域は安全であることが確認された。公共施設の総合管理計画との整合性、場所の決定も踏まえ進めていきたい。

議員

県、国の支援も必要である。1日も早い着手をお願いする。「人が集まる常総づくり」について尋ねる。

市長

圏央道、常総線、公共交通の広域連携を踏まえ、常総市に来

ていただく仕組みづくりをする。

議員

現時点で広域連携バスを走らせれば、魅力のある他市町村に出て行くだけだ。広域連携の前に市内循環バスが必要である。「待機児童完全ゼロ化」について尋ねる。

市長

切実な問題であるので、執行部も鋭意取り組んでおり、早めにゼロに近づける。

議員

「復興を超えて第二のふるさとづくり」について尋ねる。

市長

市外の方に来ていただくだけでなく、市民と交流していただけるよう、東京都との連携、協定を進めている。

議員

定住人口増を目指していただきたい。市長が常総市をいかに良くするかということに43項目を挙げている。立派な常総市ができるよう、一丸となって頑張りたい。



子どもの安全と高齢者の運転免許について

## 子どもから高齢者までの安全を

議員

子どもの安全安心といっても多種多様な問題がある。変質者や不審者の出没、誘拐、連れ去りやいじめの問題など深刻な問題がよく報道されている。不用意な発言で子どもが傷つくというのも、子どもの安全安心にとっては重要な問題があると思う。通学時や放課後の安全対策は。

教育部長

関係機関と連携して通学路の安全点検を合同で行い、迅速な道路整備、周辺環境の改善に努めている。また、各学校では見守り活動の他、関係団体の皆さまに協力いただき、交通安全パトロール等を行っている。

議員

以前にも質問したが、道路わきに繁茂した草木への対応は。

教育部長

教育委員会からそれぞれの道路管理者に連絡し、対応していただいている。

議員

高齢ドライバーによる事故が毎日のように報道されている。

悲惨な事故を起こさないためにも免許を返納することを家族で話し合うのも必要と思う。しかし、現実的に常総市では車は必需品であり、免許の返納は負担が大きい。市ではそういう議論はしているのか。

市民生活部長

現在、高齢者の免許証の自主返納にかかる対策は行っていない。他の事例を参考にしながら、自主返納の促進が図れるよう対策を考えていきたい。

議員

タクシーの時間貸しやタクシー券の配布などいろいろな方法があると思うがどうか。

市民生活部長

近隣を良く調査し、当市でどのような対応ができるか考えていきたい。



小林 剛 議員

新田 宏安 議員